

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

2016年8月25日に不適合管理会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、不適合管理会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	コンクリート性状調査の点検時期を変更する過程で、点検周期が予め定めた期間を超えてしまうことを確認した。当該変更の影響を評価。	
2	1号機	燃料取替機の掴み具位置検出装置の異常を示す警報が発生し、自動運転モードが除外され燃料取替機が停止したことを確認した。当該部を点検・修理。	
3	3号機	連続ダスト放射線モニタ(C)の指示が一時的に通常より高いことを示す警報が発生したことを確認した。当該事象の原因を調査。なお当該モニタに異常がないことを確認済み。	
4	3号機	復水ろ過装置／復水脱塩装置制御盤の監視用画面からの操作ができないこと確認した。当該制御盤を点検・修理。	
5	3号機	計装用圧縮空気系圧縮機(B)の容量調節用電磁弁に動作不良を確認した。当該電磁弁を点検・修理。	
6	4号機	原子炉建屋外気差圧調節計の動作不良により排気量が一時的に増加し、原子炉建屋と外気の差圧が高いことを示す警報の発生を確認した。当該計器を点検・修理。	
7	6号機	原子炉系伝送装置Ⅱ系に異常を示す警報の発生を確認した。当該装置を点検・修理。なお、当該装置はⅠ系にて正常に動作中であり問題なし。	